エンジンスターター専用 オプション

ホーン接続キット（C210）　『取付・取扱説明書』

C210
MSM Ver1

本品は、LED威嚇機能搭載のエンジンスターターと接続することで、エンジンスターターのLED威嚇表示中、リセット せずにドア又は、ボンネット（ボンネットスイッチ［別売］接続時）を開けた場合、エンジンスターターの警報表示と連動して車載ホーンを鳴らすことが出来るようになります。

注意 ＊EGS-M1,S1,G1,M2,M2K,G2,W2,D2,M3,G3,W3及び、ガードッグプロタイプE（TKS-03),ガードッグプロタイプA(TKS-05)へは、お取り付け出来ません。
＊イグニッションキーをOFFにした状態で車載ホーンが鳴らない車両にはお取り付け出来ません。

このたびは、「ホーン接続キット（C210）」をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。この「取付・取扱説明書」は、本品の正しい使いかたや取り付けかた、使用上の注意について記載しております。「取付・取扱説明書」を最後までお読み頂き、正しく本品を取り付け、お使いください。また「取付・取扱説明書」が必要になったとき、すぐに利用出来るよう大切に保管してください。

●お取り付け等、技術的なお問い合わせ窓口：株式会社ミツバサンコーワ　技術サービス

TEL. 0277-72-4588

製造・発売元　株式会社 ミツバサンコーワ　〒376-0102 群馬県みどり市大間々町桐原3546-1

1. 安全に関する注意事項

この「取付・取扱説明書」では安全上重要な項目に下記の記号を表示しております。
記号と意味は次のようになっております。

⚠注 意	・取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定されることを意味します。また商品を損傷・故障させる恐れがあることを意味します

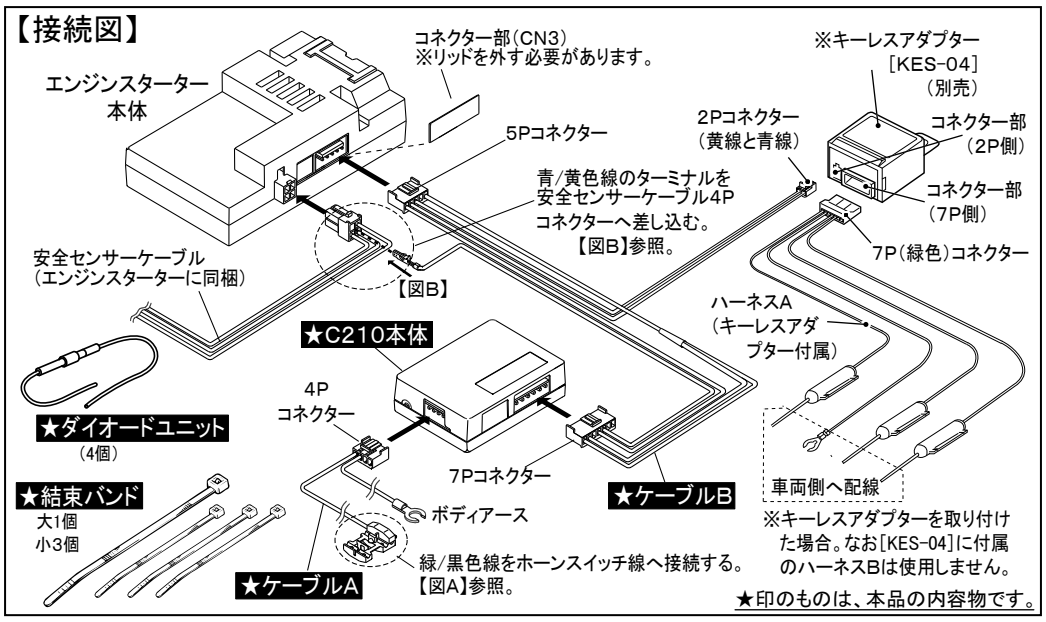
2. 取り付け前の確認事項

⚠注 意	・必ずエンジンスターターの「取付・取扱説明書」及び本書を良く読んでから作業をはじめてください。 ・取り付け及び配線作業時は、必ずキーを抜き不用意にエンジンがかからないようにした状態で作業をしてください。 ・コネクターや端子の接続は接触不良が起きないよう確実に取り付けてください。 ・作業終了後の配線類は、ビニールテープ等を利用して固定し、運転操作や車載機能の妨げとならないようにしてください。

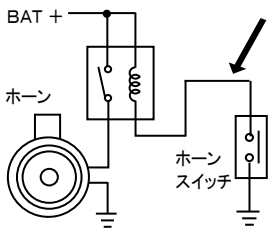
・本品の取り付けには専門知識が必要となりますので、取り付け専門業者へ依頼してください。
・取り付け工具（プラスドライバー・プライヤー・ニッパ・スパナ・テスター等）をご用意ください。
＜工具は本品に同梱されていません。＞

3. 取り付け方法

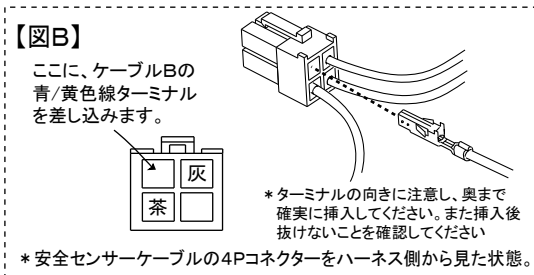
【接続図】



【図A】



【図B】



（1）エンジンスターターのパワースイッチを切り、中継ケーブルを外し、コネクター部（CN3）についているリッドを外します。

⚠注 意	・エンジンスターター本体のリッドを取り外す場合は、必ずパワースイッチを切ってから中継ケーブルを外してください。そのまま作業しますと、電源ショート等により、故障したり発火する恐れがあります。

（2）【接続図】に従い、ケーブルAの緑/黒色線をホーンスイッチ線へ接続します。

メモ ・ホーンスイッチ線とは、ホーンボタンを押さないとき約12V、押したときOVになる線です。 詳しくは【図A】を参照してください。 接続には、緑/黒色線についているエレクトロタップを使用してください。必ずテスターで確認してください。

（3）ケーブルAの黒色線を車の金属部分に締め付けます。

注意 ・塗装されている金属部分や、振動等で緩んでしまう場所には、取り付けないようにし、必ず適切な場所に接続してください。

（4）ケーブルAの4PコネクターをC210本体に接続します。

（5）ケーブルBから出ている青/黄色線の先端ターミナルを、エンジンスターターの安全センサーケーブル4Pコネクターに差し込みます。詳しくは【図B】を参照してください。

★★★（6）の作業へ進む前に ★★★

（6）の接続では、基本的に運転席ドアを開けた場合にのみ、エンジンスターターの警報表示とともに車載ホーンが鳴ります。
運転席以外のドアを開けた場合にも車載ホーンが鳴るようにするときは、必ず右上の■全席ドア検出の配線方法■の作業もおこなってください。

メモ ・車両側ドア回路によっては、運転席ドアスイッチのみの配線でも、その他のドアを開けたときに作動する車もあります。
・運転席ドアスイッチ配線のみとする場合は、（6）作業後に（7）へ進んでください。
・■全席ドア検出の配線方法■ の作業を行う際は、リード線やエレクトロタップ等を別途ご用意ください。

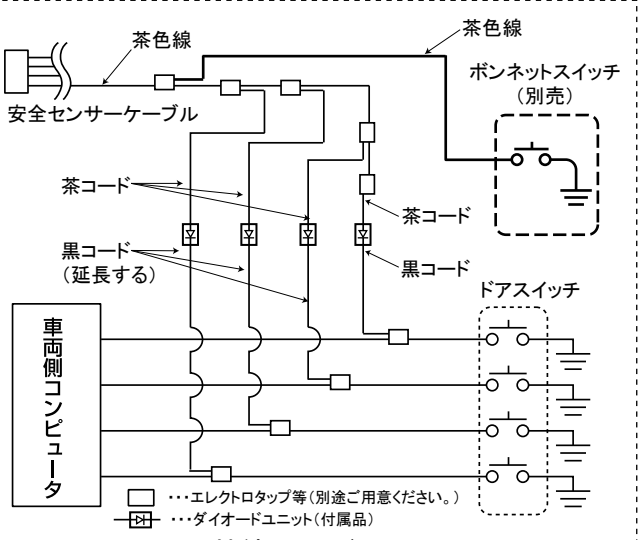
（6）エンジンスターター『取付・取扱説明書』記載の「運転席ドアスイッチ配線を行う場合」に従い、運転席ドアスイッチ配線を行います。また、このとき必要に応じてボンネットスイッチ（別売）も接続してください。

■ 全席ドア検出の配線方法 ■

①運転席ドアスイッチ線を探す要領で、他のドアのスイッチ線を探します。詳しくは、エンジンスターター『取付・取扱説明書』記載の「運転席ドアスイッチ配線を行う場合」を参照ください。

②付属のダイオードユニットの黒コード側をリード線（別途ご用意ください）で延長して ①で探した線にエレクトロタップ等（別途ご用意ください）でそれぞれ接続します。

③配線した各ダイオードユニットの茶コード側を安全センサーケーブルの茶色線へエレクトロタップ等（別途ご用意ください）でそれぞれ接続します。



≪接続イメージ図≫

⚠注 意	・コードの延長又はドアスイッチ線への接続の際には、接触不良がおきないよう確実に接続してください。動作不良や電線損傷の原因となります。 ・接続部はしっかりと絶縁処理してください。断線やショートすると、誤作動や故障の原因となります。

＊この接続をすると、エンジンスターターでエンジンをかけたときは、どのドアを開けてもエンジンが停止します。なお、エンジンが始動されるとLED威嚇はリセットされ、ホーン警報もおこないません。

以上で全席ドア検出配線の作業は終了です。（7）へ進んでください。

（7）ケーブルBから出ている5Pコネクターを、エンジンスターター本体のCN3コネクター部に接続します。

（8）ケーブルBの7PコネクターをC210本体に接続します。

（9）キーレスアダプター［KES－04］（別売）と併用する場合は、【接続図】を参考にケーブルBの2Pコネクターをキーレスアダプター本体へ接続します。 キーレスアダプターと車両との接続は、キーレスアダプターの『取付・取扱説明書』をご覧ください。接続しない場合は、2Pコネクターをビニールテープ等で絶縁処理し、次に進んでください。

注意 ・ キーレスアダプター［KES－04］以外の別売アダプターと本品を併用する場合は、別途 Gシステム分岐ボックス［GSB－01］（別売） が必要になります。

（10）これまでに配線したハーネス類、各種本体をビニールテープ等で確実に固定してください。（エンジンスターターの取り付けも完了してください。）

⚠注 意	・本品は高温になる場所や被水しやすい箇所には設置しないでください。故障・損傷の原因となります。 ・本品及び配線類は運転の妨げとならないよう、きちんと固定してください。事故の原因となる恐れがあります。

（11）エンジンスターターのパワースイッチをONにし、「オートマチック車の登録」作業をおこないます。詳しくはエンジンスターターの『取付・取扱説明書』をご覧ください。

注意 ・ 中継ケーブルを取り外した場合、オートマチック車の登録情報や各種設定情報（キー始動学習機能等）は消去されますので、再度登録してください。

・・・ 以上で取り付けは終了です。・・・

4. 使用方法

＊使用方法の詳細はエンジンスターターの『取付・取扱説明書』をご覧ください。

（1）エンジンスターターのLED威嚇機能を設定します。

（2）すべてのドア（ボンネットスイッチ［別売］接続時はボンネット）を閉めます。

（3）エンジンスターターのLED威嚇をセットします。

メモ ・LED威嚇セット操作後に、エンジンスターターがLED威嚇表示となっていることを確認してください。

（4）ドアを開けます。
LED警報表示とともにホーンが断続的に25～30秒間警報します。

メモ ・ボンネットスイッチ［別売］接続時はボンネットを開けると作動します。
・このときエンジンスターターの設定が「ブザー音・LED表示しない」にされていると、LED警報表示はせずにホーン警報のみとなります。

（5）ホーン警報は、車のキーをONにするか、又はエンジンスターターのリモコンのリセット操作で警報を停止できます。

⚠注 意	・下記の場合には、必ずエンジンスターターのLED威嚇機能を解除してください。思わぬときにホーンが警報する恐れがあり危険です。 ●本品の取り扱い方を知らない人が使用する場合。 ●車検・整備を行う場合。 ●車検・整備等で車を預ける場合。

≪以上≫